



「Kode61 バードケージ」のプロダクションモデル 第一号が納車、併せて Ken Okuyama Cars のラインナップが集結

ken Okuyama Cars 最新フューオフ、「Kode61 バードケージ」のプロダクションモデル第1号が国内顧客へと2024年2月29日に納車され、併せて、kode57 ベルリネッタ（右ハンドル仕様、納車済の個体）、kode7 が KEN OKUYAMA DESIGN 東京スタジオに集結しました。

「Kode61 バードケージ」は2023年5月にイタリア コモ湖畔で開催されたコンコルソデレガンツァ・ヴィラデステのコンセプトカー部門へのノミネートを皮切りに、8月には北米ペブルビーチ・コンコース・デレガンスのコンセプト・ローン、そして11月のラスベガス・コンコースと世界の主要なラグジュアリー・カーイベントでプレミアを行いました。「Kode61 バードケージ」はピニンファリーナにおいてフェラーリ、マセラティなど多くのスポーツカーをデザインした奥山清行が、ピニンファリーナとマセラティとのコラボレーションで製作したコンセプトカー、「バードケージ 75th」の発展形としてスタイリング開発を行った、2シーター・バルケッタ（大型のウィンドスクリーンを持たないオープン形状）スタイルのスポーツモデルです。フロントにはイタリア製V12(580hp)の自然吸気エンジンが搭載され、6速マニュアル・ミッションを持つFRトランス



アクスル・レイアウトが採用されています。「バードケージ（鳥かご）」のような繊細なスチールパイプフレームが基本構造と、キャビンのデザインテーマとして活かされ、軽量のCFRP製ボディパネルが組み合わされています。高剛性を誇るオリジナルシャーシと軽量のCFRPコンポーネントの採用など、最新のテクノロジーによる高い運動性能が特徴です。

キャビンのテーマは、Ken Okuyama Cars 各モデルの特徴であった、ドライバーとパッセンジャーが独立したレイアウトのツインコックピットをさらに進化させたもので、電動格納式ウィンドウシールドも採用されています。

「Kode61 バードケージ」は Ken Okuyama Cars 山形ファクトリーにて現在、既受注分が製作されており、現在もオーダーメイド・ベースにて限定台数の受注を受けております。



[Related sites]

Official Site: <https://www.kenokuyamadesign.com/>
Kode61 Special Site: <https://www.kenokuyamadesign.com/oneoff/press/kode61/>

山形市生まれ。工業デザイナー / KEN OKUYAMA DESIGN 代表
ゼネラルモーターズ社(米)チーフデザイナー、ボルシェ社(独)
シニアデザイナー、ピニンファリーナ社(伊)デザインディレク
ター、アートセンターカレッジオブデザイン(米)工業デザイン
学部長を歴任。フェラーリ・エンツォ、マセラティ・クアトロポ
ルテなどの自動車やドゥカティなどのオートバイ、鉄道、船舶、
建築、ロボット、テーマパーク等数多くのデザインを手がける。
『フェラーリと鉄瓶』(PHP 出版社)、『伝統の逆襲』(祥伝社)、『人生を決めた15分
創造1/10000』(KEN OKUYAMA DESIGN)、ビジネスとしてのデザイン(祥伝社)など著作。



-CONTACT-

KEN OKUYAMA CARS

Mail: cars@kenokuyama.com

TEL: +81 3 6447 5250 (Miho Hoshimoto/ Advertising cooperation : EKKO PROJECT)